

理 事 会 議 事 録

日 時：1999年3月27日（土） 12時00分～13時00分

場 所：京都大学 人間環境学研究科 会議室1

出席者：尾崎、小山、大石、柴田、立松、紀伊、吉田、
上野、有本、沢、大谷、山岡、橋本

出席者13名

欠席者 2名うち委任状1名

（また、牧島氏の代理として東京大学理学部物理教室の田代氏が参加）

議事に先立ち、署名人を選出した

議長：尾崎洋二
署名人：柴田一成、大石雅寿

議事の経過及び結果

1. 前回（1999年1月15日）の理事会議事録が報告され、承認された。
2. 1999年春季年会の報告が吉川年会理事より報告があった。参加者総数は710名、講演数448（うちポストデッドライン講演が1、キャンセル5件）、記者会見は4件で参加

報道機関数は10社、保育室利用者はのべ5名（他に親子1組の利用）、懇親会参加者が223名であって、最大規模の年会となることが報告された。

3. 新入正会員の名簿が紹介され、13名全員の入会が承認された。
4. 99年秋季年会以降の年会の予定について、各年会理より以下のように報告があった。

1999年秋季年会：九州大学六本松地区 99年10月7日（木）～10月9日（土）、公開講演会は10月10日（日）

2000年春季年会：東京大学本郷キャンパス 2000年4月3日（月）～4月5日（水）、公開講演会は4月2日（日）

2000年秋季年会：ぐんま天文台がホストとなり伊勢崎市で開催。会期は2000年10月5日（木）～10月7日（土）。

5. 定款の細則・内規の改定の進捗について大石庶務理事より報告があった。特に改訂を急ぐ内地留学奨学金に関する規定の改定については7月の理事会で承認が得られるよう、5月に実務理事会を開催して議論する予定であることが報告された。
6. その他

（1）PASJの出版・電子化について、有本欧文研究報告理事より説明があった。欧文研究報告出版に関わる費用が当初見積もりにくらべて最大約230万円増加し98年度予算案に近くなる可能性があること、電子投稿は1月から開始したこと、2000年度は購読料の値上げをしないこと、また、現在の購読契約機関数が約200であること、が報告された。

（2）次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定された。

理事会：1999年7月10日（土）

評議員会：1999年7月17日（土）

（3）大石庶務理事より国立天文台総合情報棟の建設に伴い、現在の学会事務所を引っ越す必要があることが報告された。引越し時期は未定であるが、8月末までには引っ越す必要がある。

（4）ペルーの天文活動を支援するための募金振込用紙を天文月報に添付してほしいとの要望が出された。種々議論の後、月報に募金を呼びかける記事載せることとし、振り込み用紙の添付はしないこととなった。

議長：尾崎洋二
署名人：大石雅寿
署名人：柴田一成